

(特非) 環境生態工学研究所

松島湾SDGs

(探そう 誰もが Go!!する社会)

活動地域  宮城県松島町



福浦橋での底質改善イベント(砂団子投入)

課題

松島湾の「藻場造成活動の定着、更なる活発化と継続化」と、幅広い視野を持って活躍できる「人材育成と社会システムの構築」。

目標

多様な参加者の協力の下、造成した藻場が維持され、地元で愛されるプロジェクトが確立し、これに参加する新たな担い手が50人増え、母体組織が構築される。



今後の
展望

近年SDGsを意識した学習旅行が注目され、ワークブック(松島町)(当団体の活動が掲載)を見た学校から、旅行会社を通して問い合わせがある。藻場の再生を観光の一つのコンテンツにならないか検討していきたい。

活動内容と成果

継続して実施している松島湾全域の藻場分布調査の結果、アマモ場は震災前の15%の回復に留まっていた。この震災から10年の藻場の変遷について日本水環境学会年会で報告した。また、水族館スタッフの協力の下、伝統漁法等を用いた生物調査を実施し、サンゴタツを確認した。福浦橋での観光客を対象とした底質改善イベント(砂団子の投入)では、2,326人の方に協力いただいた。本活動は松島高校のオンラインツアーや修学旅行、先生向けの教育ツアーのコンテンツの一つとして取り入れていただき、幅広い方に情報発信することができた。



松島パークフェスティバルへの企画参加

フロントランナー助成

1年目

知識の提供・普及啓発

イベント年間参加者数 **2,326人**

アマモ移植株数 **150株**

今年度計画の達成度 **76%**

目標達成度 **20%**

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

新たな担い手を引き入れるため、活動への参加者を募ったが、平日の活動や新型コロナウイルス禍に伴う自粛により、集めることが難しかった。

■ 工夫した点

活動に関わる団体が多様になってきたため、会員を中心とした小委員会もつくり、工程確認と情報交換はこまめに行うようにした。

〒984-0051

宮城県仙台市若林区新寺

1-5-26-104

電話：022-293-2281

E-mail：e-tec@world.ocn.ne.jp

HP：http://www.e-tec.server-shared.com/

